

団体名	みわのわ
活動テーマ	福島県双葉郡のこどもサマーキャンプ



2011年3月の東日本大震災では、福島第一発電所の爆発事故が発生し、今なお避難を強いられている人が多数います。「みわのわ」は、被災地の子を招待して、自然豊かな三和町で過ごしてもらおうと「サマーキャンプ」を企画・実施している。

今回、福島県双葉郡の5年生12名を対象に4泊5日のサマーキャンプを実施。三和町内の川でエビ捕り、小魚つかみ、竹の水鉄砲遊び、筏流し等、三和町内の子どもと一緒に自然の遊びを満喫した。また、天橋立で一日ゆったりと海水浴の楽しさも味わった。震災後、久しぶりに川や海で泳いだ子供たちは、子供本来の遊びに満身浸り、エネルギーを発散してしなやかな心を取り戻していった。さらに、京野菜の万願寺とうがらしの農家さんの畑で今まで見たこともない大きくてまっすぐ伸びたとうがらしを沢山とらせていただき、ボランティアさんと一緒に食事をし、色々話をし、身も心もほぐれていった。帰福する前夜のミーティングでは、「夏休みはいつもゴロゴロして過ごしているのに、こんなに貴重な体験をさせてもらって、本当にうれしい。」「これからどんなことがあっても、明るく前向きに生きていきます。」と素直に自分の心を語ってくれた。また、震災当時、まだ年中さん(4歳)だったのに、その時の様子もしっかり覚えていて話してくれた。

私たちのほうも、「福島の子たちは、どうしているのだろう」と、心配している方がたくさん集まり、こうしてサマーキャンプをしていることを伝えた。今回のサマーキャンプも、12名の子供たちの心に深く響き、大人への信頼感を強く持ってくれたことと思う。子供たちが言うように、これからの困難に、明るく前向きに生きていく支えとなることを願って、サマーキャンプを終えた。